

今年度初めてのメルマガをお送りいたします。
引き続きTKKをご支援頂きますよう、宜しくお願い致します。

===== 2009.7.5

NPO法人 東京高次脳機能障害協議会 —— <http://www.brain-tkk.com/>

T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol.10

—新たに青梅市、大田区の2団体が加盟し、団体会員が12になりました—

～目次～

1. TKK活動
2. 関連団体の活動
3. 行政等の活動
4. TKK役員より

【1】TKK活動

∞ **

●平成20年9月に設立され大田区を中心に活動されている「フォーラム 大田高次脳」、
21年4月に設立され青梅市で活動されている、高次脳機能障害者・遷延性意識障害者とその
家族の集い「なんてんの会」の2団体が新たにTKKに加盟され、当会の団体会員は12団
体になりました

●当会企画のスウェーデン福祉研修ツアー（5/17～5/24）終了報告—1

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view <http:
//www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=33>&readNum=33

●21年度第1回運営委員会 4月14日夜、於：世田谷ボランティアセンター
21年度運営及び事業について討議

●21年度定期理事会・総会開催 6月7日夜、於：世田谷ボランティアセンター

昨年度の事業報告、会計報告および今年度事業計画、予算が審議、承認されました。役員か
らのメッセージはこちらから→

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view <http:

●企画会議 & 運営会議 6月24日午前、VIVID事務所

ボランティア(支援者)養成講座 -4 (成年後見制度) の企画検討およびピア・カウンセリングなどの相談応接を都と協働で行う事業の検討

●複合型ケアコミュニティ 舞浜倶楽部「新浦安フォーラム」を見学しました

2008年TKKシンポジウムで基調講演をしていただいた、グスタフ・ストランデル 日本スウェーデン福祉研究所取締役がプロデュースされた素晴らしい施設を見学しました

http://www.brain-tkk.com/index/show_board.php?boardAct=view&readNum=126

○ボランティア(支援者)養成講座 -4- TTK・VIVID共催

「成年後見制度を使いこなそう、権利と尊厳を守るために」

9月27日(日)、於：日本青年館 (詳細は後日お知らせいたします)

【2】関連団体等の活動

∞ **

○第9回ドリームサロン ～高次脳機能障害を、知ろう、語ろう、もっと身近に～

7月12日(日)午後1時～4時、調布総合福祉センター4階 主催：調布ドリーム

【3】行政等の活動

∞ **

●高次脳機能障害支援普及事業 平成21年度第1回支援拠点機関全国連絡協議会

7月1日(水)午前、国立障害者リハビリテーションセンター学院

出席者 連絡協議会委員 他

厚生労働省科学研究費「高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究」

平成21年度第1回全体会議との合同会議

○第6回多摩高次脳機能障害研究会講演会：7月7日(火)19:00～21:00

国分寺いずみホール(JR中央線・武蔵野線 西国分寺南口徒歩1分)

19:00 [開会の辞] 国リハ 中島八十一先生

19:00～20:00 [講演1] 司会 武蔵野赤十字病院 富田博樹先生

『小児の高次脳機能障害 ー神経心理学的評価とリハビリテーションー』

千葉リハセンター小児神経科 荻原実知代先生

20:00～21:00 [講演2] 司会 首都大学東京 渡邊 修先生

『きょうされん東京支部中途障害部会からの報告』きょうされん東京支部

21:00 [閉会の辞] 多摩高次脳機能障害研究会 慈恵医大 米本恭三先生

○葛飾区高次脳機能障害講演会

7/11(土)：高次脳機能障害者を支える家族会の活動について 足立さくら会
8/8(土)：高次脳機能障害者の就労支援の実際 東京障害者職業センター

○高次脳機能障害者相談支援研修会（都の主宰で区市町村等の職員対象）

7月13日午後

講演：高次脳機能障害の基礎知識と相談支援のポイント 講師：渡邊 修

報告：高次脳機能障害者支援拠点からの報告、都内に於ける高次脳機能障害者支援の現状と課題

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/kojino/seminar/index.html>

○ 第5回 高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会

7月27日(月)18：00～20：00

東京都心身障害者福祉センター

議題 ○平成21年度における支援普及事業の実施状況・事業展開
○地域ネットワーク構築の進捗状況他

【4】TKK役員より

∞
* *
∞

『じりつ・自立・自律』

理事 高橋 俊夫

一昨年5月のセミナーでスウェーデンの「エライン・ヨハンソン」さんという方の講演を聞いたことがあります。その中で「じりつ」（訳本はないのでこう書きます）という言葉聞いた時から、そこで写されたスライドの内容とこの言葉の関連が印象深く残っています。この方の娘さんは「レット症候群」という重い障害を持っており、一日数名の介護者によって見守られ、家族から離れて生活しています。

「母としてやることは他の健常者の母親と同じ様に誕生日のお祝い、クリスマスのプレゼント、たまのおこずかいをあげるくらいであり、娘は「じりつ」している」と言われました。

我々が言う「じりつ」は「自立」であり、経済的に一人立ちを意味する場合が多いですが、スウェーデンという福祉国家、障害者を障害者として区別しない、人間としての基本的なニーズは皆同じ」というような考えが出来上がっているからでしょうか。

因みに妻が通っているデイ＝障害者自立支援法での生活介護事業を行っているところ＝では「自律」という文字を使い、これを一つの方針に掲げ、「自分自身の力で、あるいは援助を受けながら様々な活動に主体的に取り組めるよう支援する」としています。

いずれも本人達の主体性の尊重、家族も元の生活に戻れることが目指されていると思います。それが実現できるための、本人達に合った通所、入所施設といった居場所、環境が数多く出来る事を望むものです。

以上